

建築工事の現場監督ら約70人参加 鉄骨工事の実務実践講座

一般社団法人福井県建築工業会（西野左武朗会長）主催、公益社団法人福井県建設技術公社共催の研修会「人材育成講座 鉄骨工事の実務実践講座」が8月31日、福井市の福井県中小企業産業大学校で開かれた。

この研修会は建築工業会の公益事業の一環として、建築界の人材育成を目的に建築工業会会員だけでなく広く募集し、今回で4回目となる。建築工事を担当する現場監督ら約70名人が参加した。

竹内伸一（㈱竹野組）事業員会担当理事は「杭偽装問題等による建設物の品質に関する問題がクローズアップされる中、現場技術者として行うべきことについて学び、再確認し、会社の仲間にも伝えていただきたい」などとあいさつした。

講師は建設産業研究所の中西博氏、建築工事の重要な部分を占める鉄骨工事について、「鉄骨は加工の難しさに対して厳しい精度が要求される工事で、現場監督の力量が問われる」と強調。

講義では、参加者が12グループに分かれ、現場監督として、監理者への的確な応答、現場作業員への適切な指示を行うため、鉄骨工事の品質基準や現場作業に関する実務上必要な事項について、討論・発表しスキルアップを図った。



竹内伸一（㈱竹野組）事業員会担当理事 あいさつ



鉄骨工事の実務実践講座を学ぶ参加者- 8月31日